

静岡県立こども病院

平成 26 年度データ移行用仮設 PACS 構築機器等賃貸借契約入札仕様書

○目次

1. 調達の概要	2
1. 1 概要	2
1. 2 契約期間	2
1. 3 支払方法	2
2. 調達物品等	2
3. 導入スケジュールと台数	2
3. 1 導入スケジュール（概要）	2
3. 2 納入場所、納入期限、借入期間	2
4. 機器の導入と支援	3
4. 1 設置について	3
4. 2 設置時の支援内容	3
4. 3 設置後の支援内容	3
4. 4 導入時の付帯作業	4
4. 5 その他	4
5. 保守要件	4
5. 1 保守項目	4
5. 2 保守対象	4
5. 3 保守体制	4
5. 4 保守方法	4
5. 5 障害時保守の作業内容	5
5. 6 その他特記事項	5
6. 納入要件	5
6. 1 連絡体制	5
6. 2 設置場所	5
6. 3 本病院による検収	5
7. 機密保護	5
8. その他	5
9. 機器以外の納品物	5

(別紙)「データ移行用仮設 PACS 構築機器等仕様書」

1. 調達の概要

1. 1 概要

本仕様書は、静岡県立こども病院データ移行用仮設 PACS 構築用として使用する機器等のハードウェア（ラック、ケーブル等の付属品を含む。）及びソフトウェア（業務アプリケーション、マニュアルやライセンスを含む。）の調達及び保守作業に関するものである。

また、本仕様書には、調達するハードウェア及びソフトウェアの詳細な仕様と数量、導入場所とスケジュール、設置場所における作業（導入手順の概要）及び導入・保守に関する要件を記載している。

1. 2 契約期間

契約締結日の翌日から、賃貸借終了期日までとする。

ただし、賃貸借期間については、調達物品検収後の翌月の初日から 60 ヶ月間とする。

1. 3 支払方法

月払いとし、請求書に基づき支払う。

2. 調達物品等

調達する物品は、静岡県立こども病院データ移行用仮設 PACS 構築用のサーバ関係物品（ハードウェア及び業務アプリケーション等）及び検像端末、それらの設置、保守、障害回復等の作業とする。仕様は、（別紙）「データ移行用仮設 PACS 構築機器等調達仕様書」を参照すること。

また、調達物品の設置等に伴って必然的に必要となる物品（接続部品等）については、本仕様書の記載の有無に関わらず提供することとする。

3. 導入スケジュールと台数

3. 1 導入スケジュール（概要）

導入スケジュールを以下に示す。機器搬入は、契約締結後こちらの指示したスケジュールに沿って行うものとする。

3. 2 納入場所、納入期限、借入期間

調達物件	納入場所	納入期限	借入期間
医用画像管理システム「iRad-IA」	静岡県立 こども病院	平成 26 年 10 月 31 日	平成 26 年 11 月 1 日 から 60 か月後まで
検像端末「iRad-QA」			

4. 機器の導入と支援

4. 1 設置について

本病院の指示に基づき、以下の事を行うこと。

(1) 設置計画

- ① 事前に調達予定機種の明細および仕様を提出し、本病院より仕様を満たしていることの確認を得て、設置計画を立てること。(入札説明書を確認すること。)

(2) 設置作業

- ① 導入計画等に基づき、調達機器の設置に必要な各種作業を適切に行うこと。
- ② 納品時の設定指示書に従い、OS のインストール等初期設定作業を行うこと。
- ③ 既設のネットワークにネットワーク接続の必要な調達機器を接続し、疎通確認を行うこと。また接続に必要なケーブル類の手配も行うこと。
- ④ ラックマウントに対しては、既設のラックがあるのでその中に調達機器を取り付けること。
- ⑤ 調達機器及び付属品の搬入・組立て後は、納入業者の責任において搬入材（空箱等）を速やかに撤去すること。

(3) その他特記事項

- ① 各サーバ機器の「製造番号」「OS のプロダクト ID」「(当方指定の) コンピューター名」を Excel ファイル「サーバ機器一覧」にて提出すること。
- ② 全調達機器の設定作業及びソフトウェアのインストール作業については、原則として前述の「3. 2 設置場所、設置期限、借入期間」にて指定された設置期限までに作業を完了すること。スケジュールについては、変更もありうるので、その際は、本病院の指示に従うこと。

4. 2 設置時の支援内容

- (1) システム業者が行う業務アプリケーションインストール及び動作確認時のトラブルに備え、問い合わせ窓口を設けること
- (2) サーバ本設置完了後に、端末とサーバ間の疎通確認テストを行うので、立会いを行うこと。(1日間程度の対応を想定している。)
- (3) サーバおよび納入ソフトウェアの障害に関しては随時対応するものとする。

4. 3 設置後の支援内容

- (1) 調達機器設置後に、本機構職員に調達機器に関する説明を行うこと。(1日程度の対応を想定している。)
- (2) 動作確認時における調達機器に関する質疑への対応は、随時、速やかに対応すること。
- (3) 導入時は、本機構に対する技術支援の窓口を書面と電子媒体にて提示すること。
- (4) 本機構職員からの、その他の質問等にも随時速やかに対応すること。

4. 4 導入時の付帯作業

機器の導入にあたり、以下の作業を実施すること。作業にあたり、責任をもって動作保証を行うこと。

システム業者への作業支援が必要な場合は、システム業者より支援依頼を受け、落札業者として責任をもって実施すること。なお、依頼により発生する費用は基本的に落札業者の負担とする。ただし、大幅な予定外の費用に関してはシステム業者、本病院、落札業者の3者で協議し費用負担を決めることとする。

① 導入機器の評価

導入機器において、システム業者が行う業務アプリケーションの動作評価テストに立ち会い、導入機器、基本ソフトウェア及び業務アプリケーションの動作に問題ないことを確認すること。

動作上問題が生じ、導入機器及び基本ソフトウェアの設定内容の変更が必要な場合は、システム業者と協力の上、変更を行うこと。

4. 5 その他

すべての作業において、本病院の業務及び稼働中の業務システム等に影響がある場合は事前に明らかにすること。

賃貸借の期間終了後における機器の撤去費用及び、データの完全消去にかかる費用を含めること。

5. 保守要件

システムが常に完全な機能を保つように、対象のハードウェア、基本ソフトウェア等の保守を行うこと。また、保守作業にあたっては、本病院職員との円滑な協力体制を実現すること。

なお、保守作業に関しては、消耗品及び動産総合保険の対象外となるような行為による障害を除いて、本病院に対して別途費用を請求する事はできない。

次の項目を落札業者の責任において確実に実施すること。

なお、次の項目は必須条件であり、これ以外の内容についても本病院業務に影響を与えないように必要に応じて実施すること。

5. 1 保守項目

① 調達機器に関する問い合わせ

今回調達機器の問い合わせに対する窓口を電子媒体と書面にて通知すること。

5. 2 保守対象

① 本仕様書により調達機器一式

5. 3 保守体制

① 賃貸者は全社的に製品の信頼性を確保するための品質管理体制を有していること。

② 保守拠点には、常時保守要員を待機させ、修理・点検・保守・その他のアフターサービスについて、適切かつ迅速な対応が可能であるようにすること。

④ 保守拠点には、付属品等も含めて常時保守部品を保有するとともに、ソフトウェア等もその製造元と保守契約を締結し、適切かつ迅速な対応が可能であること。

⑤ 保守作業の作業報告は、保守作業完了後に、担当者に対して完了報告を行うとともに、書面にて定期的に報告すること。

5. 4 保守方法

原則としてオンサイト保守（訪問保守）とするが、本病院が特に必要と判断した場合は、センドバック（持ち

帰り) 保守による作業を許可する場合もある。

① 保守期間

別紙『データ移行用仮設 PACS 構築機器等仕様書』に記載する。

② 費用負担

特段の定めがあるものを除き、部品の購入費等の保守に要する経費は、落札業者の負担とする。

5. 5 障害時保守の作業内容

- ① 障害個所の特定及び原因除去のための適切な対処を行う。
- ② 障害回復後の正常動作確認を行う。
- ③ 関係各部署との調整を行う。
- ④ 機器の取扱いに起因する障害の場合には、予防のための指導及び助言を行う。

5. 6 その他特記事項

- ① 保守体制、サポート内容及び方法は、文書と電子媒体にて速やかに提示すること。

6. 納入要件

設置に際しては、次の要件で納入すること。

6. 1 連絡体制

納入に対する連絡体制を明確にし、問合わせに対する対応を行うこと。

6. 2 設置場所

納入場所は、次のとおりとする。

静岡県静岡市葵区漆山 860 静岡県立こども病院 サーバー室

6. 3 本病院による検収

納品完了時に、本病院による検収を行う

7. 機密保護

賃貸者は、いかなる場合においても本契約の履行中に知り得た業務に係わる事項及び付随する事項に関する情報に関して機密保持をすること。

8. その他

- (1) 各構成品（各ハードウェア、ソフトウェア、サーバと端末間）は、一体となって正常に作動すること。
 - (2) 調達機器の稼働・保守については、調達機器の製造者のいかににかかわらず、賃貸者が最終責任を負うこととし、製造者との間の契約等により、責任を担保していること。
 - (3) 機器追加などによるシステムの拡張に容易に対応できるように機器選定については考慮すること。
 - (4) システムの拡張に伴う機器調達費用が、今回の調達費用と比較して妥当な価格にて提供できること。
 - (5) 本仕様書に疑義がある場合は、本病院に質問し、その指示を受けること。
- なお、契約後の本仕様書の解釈は本病院によるものとする。
- (6) 本仕様書に対する質問は、入札説明書によるものとする。

9. 機器以外の納品物

以下の資料を契約締結後、設置期限までに納品すること。

- ・ 賃貸借物件一覧（明細及び機器仕様を含む）
- ・ 調達機器の問い合わせ窓口一覧
- ・ 保守体制図及び保守内容一覧
- ・ 出荷報告

(別紙1)『データ移行用仮設 PACS 構築機器等調達仕様書』

これから示す仕様についてはカタログ値を基準に選定すること

1. 移行用仮設 PACS 「iRad-IA」 に関して

1-1. サーバ構成要件

NEC Express5800/R120e-2E 以上の性能となる構成であること。
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (x64) (RTM、SP2) にてセットアップした状態で導入すること。
既存 SIENET@Store サーバラック内に構築すること。
CPU は、Xeon E5-2403 (1.8GHz)相当以上の性能とすること。
メモリは 8GB 以上であること。
管理領域として RAID 1 構成であり、実効容量が 1 TB 以上となる磁気ディスクを有すること。
画像保存領域として物理容量 1TB×10 以上の磁気ディスクを有し、RAID5 構成とし、実効容量が 8TB 以上となること
内蔵 DVD マルチドライブ相当を有すること。
既存コンソールを流用すること。
1200VA/1000W 以上の要領を有した、無停電電源装置を有すること。
1000Base-TX (Fast Ethernet) 以上に対応したネットワークインターフェースを有し、通信プロトコルは TCP/IP であること。

1-2. 基本要件

新規に「iRad-IA」を構築すること。
SIENET@Store 内の全画像データを移行すること。 但し、新しく構築した画像配信ゲートウェイ運用開始以前に保存されたデータを対象とする。
SIENET@Store から iRad-IA へのデータ移行は、以下の手順を想定すること。 1) SIENET@Store 内の対象データを、iRad-IA 側へファイルコピー。 2) iRad-IA 側で対象ファイルを取り込み、DB 等を構築する。
syngo.plaza 内の画像データを移行すること。 但し、以下を前提とする。 1) SIENET@Store 内にない画像を対象とする。(超音波画像 など) 2) 新しく構築した画像配信ゲートウェイ運用開始以前に保存されたデータを対象とする。
iRad-IA での取り込み処理中に取り込みエラーとなった画像または、DB 構築にあたり不都合が生じたデータに関しては、iRad-QA へ転送するなどの対応を病院と協議し、実行するものとする。
画像配信ゲートウェイ稼働後の新規検査画像は受信対象外とする。

2. 検像端末「iRad-QA」に関して

2-1. 端末構成要件

Dell OptiPlex 9020 SF 以上の性能となる構成であること。
Windows 7 Professional 64bit で動作する PC 上にセットアップした状態で導入すること。
CPU は、Core i5 (3.0GHz)相当以上の性能とすること。
メモリは 8GB 以上であること。
内蔵記憶装置として、RAID 1 構成であり、実効容量が SATA:250GB 以上となる磁気ディスクを有すること。
内蔵 DVD マルチドライブ相当を有すること。
17 インチ(解像度 1280×1024)以上の TFT 液晶カラーモニタを有すること。

500VA/320W 以上の要領を有した、無停電電源装置を有すること。
1000Base-TX (Fast Ethernet) 以上に対応したネットワークインターフェースを有し、通信プロトコルは TCP/IP であること。

2-2. 基本要件

新規に検像端末「iRad-QA」を 1 式構築すること。
検像対象は、AOC またはメディア等から直接取り込んだ院内外のデータ、iRad-IA や Syngo. plaza 等への画像保存にあたりエラーとなった DICOM 違反の恐れのあるデータとする。
マルチフレーム画像取り込みの場合、AOC 側で圧縮伸長した非圧縮画像としての受信を想定する。
静止画の場合、送信対象は、画像配信ゲートウェイとする。
マルチフレーム画像の場合、運用は検討の上確定するものとする。
iRad-IA とのデータ送受信が行えること。
Dr. View、web クライアントの syngo. plaza をインストールすること
設置場所は、放射線科内とする。
端末設置に関わる机や椅子等の調度品の費用は全てベンダ負担とする。

3. 付帯要件

3-1. 「SIENET@Store」に関して

現行サーバ筐体内に、新規に画像配信ゲートウェイを構築すること。
画像配信ゲートウェイはマルチに転送可能であり、同時に複数のタスクがあっても遅延しない構成となること。
各装置からの画像転送ルートを画像配信ゲートウェイに変更すること。
その際、IP アドレス、ポート No.、AE タイトルは、既存の SIENET@Store のものを継承し、装置側の設定を修正することなく移行すること。
画像配信ゲートウェイ稼働後は受信した画像を、SIENET@Store 及び Syngo. plaza へ振り分け送信し、双方のシステム上に同一検査の画像が存在する状態とすること。但し、MultiFrame 画像は対象外とする。
SIENET@Store 上への新規画像保存は Web 配信用の Lossy 形式での保存のみとし、Lossless 形式での保存を停止する。
ただし、圧縮処理不可能な画像は現状の保存を認める。
SIENET@Store への各種画像処理装置からの Q/R を設定変更すること。

3-2. syngo. plaza に関して

画像配信ゲートウェイ稼働以前に保存された画像のうち、SIENET@Store に存在しない検査画像を、iRad-IA へ移行すること。
iRad-IA へのデータ移行は、以下の手順を想定すること。 1) syngo. plaza 内の対象データを、iRad-IA 側へファイルコピー。 2) 原則として iRad-IA へ対象データを DICOM 転送。 やむをえない場合は、 3) iRad-IA 側で対象ファイルを取り込み、DB 等を構築する。
画像配信ゲートウェイ稼働後以降に保存された画像は、syngo. plaza 上に保存されるものを原本とし、次期 PACS 稼働時には、syngo. plaza 上のデータを移行対象データとする。
画像配信ゲートウェイ稼働後以降に保存された画像が全て syngo. plaza 上に保存、管理されるようにベンダは責任を持ち、データの不整合等のトラブルを発見できるシステムを構築し即座に対応すること。

4. その他

4－1．全般

今作業を行うにあたり、事前に設置場所、電力、LAN 回線等のインフラを事前調査すること。
データ移行作業は日常業務に支障をきたさないように、夜間、休日に行うよう調整すること。
本仕様書に基づき導入されたシステムの運用上必要な有償作業についてはベンダ負担とする。
本仕様に基づき導入するシステムで必要となるハブ、ケーブル類や金具等の追加費用はベンダ負担とする。

4－2．保守

導入年度の翌年度末まで無償保証とすること。
本システムの正常稼動を常に監視し、トラブル発生時に即座に発見、対応すること。